

須恵

2014
188号
FEBRUARY

平成26年2月5日発行

発行／須恵町議会 所在地／〒811-2193 須恵町大字須恵771番地 TEL／092(932)1154(議会事務局) FAX／092(933)6579



12月定例会 主な内容

南幼稚園に給食室を新設 2▶

ここが聞きたい (一般質問) 4▶

なんばしようと? (七鳥居くぐり) 14▶

表紙シリーズ／未来を担う子どもたち「持久定大会」



梅の木の下で(乙植木天満宮)

なんばしようと? 第11回 地域の特徴

七鳥居くぐり

須恵町の地域の特徴や伝統行事等を紹介いたします。そこで今回は、「七鳥居くぐり」ってなんばしようと?

鳥居くぐり

数え年44歳の4月4日、厄明けの祝いに、川を渡ることなく七つの神社に参拝するという風習が須恵町の数カ所に残っています。(最近では、4月4日に近い日曜日に行われることが多いようです。)

氏神様の神社をスタートし、同年代の友達の協力で、車に乗り合わせ、賽銭や酒、コップなどを持って、廻ります。川を渡ってはいけないので、地域によって参る神社が違います。また、須恵町だけでは足りず、宇美町、粕屋町、篠栗町にまで出かかります。

二礼二拍手一礼の作法でお参りした後、お神酒を頂き次へと進みます。

七ふ汁

廻り終えると元の神社に戻り、酒宴というわけです。

ここでは、七つの「ふ」のつく具材が入った汁(七ふ汁)を、梅の木の下で頂きます。作る人は味見をしてはいけないことになっているので、少しドキドキです。

存続を願う

足るを知り、大厄がなかった事へのお礼参りですが、これからの身体に更に気をつけるという戒めに加え、友人と仲良く在りたいという願いも伴っています。あなたがち迷信ばかりというわけではないようです。

お隣の粕屋町では、町をあげて取り組んでいます。今後も永く続けてほしいものですが、復活や新規の実施があれば、より良いのではないかと思います。



七ふ汁

編集後記

安定が必要なとき

近年の異常気象には困ったものだ。夏の暑さも冬の寒さも毎々が例年にならない。春も秋も味わう機会がない。

同じく近頃は、人間まで極端になったのか、心に余裕ある人が少なくなつたように感じる。感情的になつて、ものごとをこわしたりすると悲劇となる。

我々が目指す安心安全の社会も、求めるばかりで、自分も世間もぐらぐらしているとかねわれない。やはり安定がなければならぬ。積み上げてきたものを守り育て、花開かせるまで腹を据えていきたい。「安心安全も安定から」と思うがどうだろうか? 変化の多い時代だからこそ、揺るぎない自分になりたいものだ。

田ノ上 真

発行責任者

議長：三角 良人

広報特別委員会

委員長：今村 桂子
副委員長：合屋 伸好
委員：百田 輝子
委員：田ノ上 真